



並木中等story

令和3年12月14日号

勝手に理想な人を作らないで！

人は気に入った他人を理想の人物に仕立てあげることが得意なようです。「私の見立てた人はこんなことができる、そんなことができる、あんなことができる。」というように**自らの理想を気に入った友達や先輩に押しつけ、惚れている人がいます**。惚れられた人は最初は嬉しいかもしれませんが、しかし、理想を押しつけられているため、それは、本来の自分が惚れられているのではないのです。理想に近い人ということで惚れられているのだけなのです。このような場合、惚れている方が違いに気付き、やがて「私の理想

ではない。」と言って離れていくでしょう。そして、惚れられた人は、“これまでのあの人のアプローチは何だったのだろう”と不思議に思うことでしょう。

アドバイスです。自分の理想を他人に重ねる時は、相手の人格も大切にしてください。人には長所、短所が必ずあります。いいところだけ見ていたら、まだ半人前です。長所も短所も受け入れる必要があるのです。



《祝！第11回科学の甲子園茨城県大会V4！》

第11回科学の甲子園茨城県大会において、みごとBチームが優勝、Aチームが選考委員特別賞を受賞しました。Bチームは3月に開催される全国大会に出場します！科学の甲子園の県大会優勝は平成31年度の中止をはさみ、4回連続となります。おめでとうございます。

